

県営頭堤地区土地改良事業計画書
(防災重点農業用ため池緊急整備事業)

秋 田 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地域及び地積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	1
第 1 節	気象及び海象	1
1.	一般気象	1
2.	特殊気象	2
3.	海 象	2
第 2 節	土地状況	2
1.	地形、土壌及び侵食の程度	2
2.	土地分類	3
3.	土地利用の状況	3
4.	土地所有の状況	4
第 3 節	水利状況	4
1.	用水状況	4
第 4 節	道路概況	6
第 5 節	地域農業の概況	6
1.	産業別就業人口	6
2.	経営農用地広狭別農家数及び農用地 の分散状況並びに専兼業別農家数	7
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	7

次

4.	主要作物作付状況	8
5.	農業の動向	9
第 6 節	地域環境の概要	10
第 4 章	一般計画	10
第 1 節	事業計画の要旨	10
1.	要 旨	10
2.	事業別面積	10
第 2 節	営農計画及び土地利用計画	11
第 3 節	用水計画	11
第 4 節	排水計画	12
第 5 節	道路計画	12
第 6 節	農用地造成計画	12
第 7 節	洪水調節計画	12
第 8 節	干拓計画	12
第 9 節	農用地整備計画	12
第 10 節	老朽ため池改修計画	12

目

次

第 5 章	主要工事計画	13
第 1 節	用水施設	13
第 2 節	排水施設	13
第 3 節	道路及び索道	13
第 4 節	農用地造成	13
第 5 節	洪水調整施設	13
第 6 節	干拓事業	13
第 7 節	農用地整備施設	13
第 8 節	老朽ため池改修施設	13
1.	貯水池	13
2.	堤体補強施設	15
第 6 章	付帯工事計画	15
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	15
第 8 章	環境と調和への配慮	16
第 9 章	換地計画の概要	16
第 10 章	事業費の総額及び内訳	16
第 11 章	効 用	17
第 12 章	関連する事業	18
第 13 章	現況計画図面	18

第 1 章 目 的

- (1) 必要性 : 本ため池群は、明治から昭和初期にかけて築造されたものであり、約100年経過している。これまで、地元水利組合により維持管理を行い、ため池としての機能維持を図ってきたものの、近年、堤体に変状が著しく老朽化が進行している。また、洪水吐の通水断面の不足、堤体の余裕高並びに堤体体積が不足しており、地震や豪雨などが発生した際は、危険な状況となっている。
堤体の不安定性や漏水、排水機能の低下等の課題を解消するために、本ため池の改修が必要である。
- (2) 緊急性 : 本ため池は、平地農業地域に隣接したため池であり、その下流に受益地と住宅地帯が形成されている。ため池決壊時の想定氾濫被害は、農地被害はもとより、住家が全半壊し、人命被害となることが想定される。近年、全国各地で震災被害や洪水被害が多発しており、生活の安全・安心性に対する社会ニーズの高まりの中で、農地防災、住民生活の安全・安心性を確保するため、本施設の早急な改修が必要である。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域 (第1表)

事業名	地 域
防災重点農業用ため池緊急整備	大館市大茂内

第 2 節 地 積 (第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
防災重点農業用ため池緊急整備	大 館 市		33.0					33.0	
	計		33.0					33.0	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象 (第3表-1)

観測所名	大 館 観 測 所	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備 考
観測期間	H25年~R4年	5月~8月	9月~4月		
平均気温 ()		20.7	5.9	10.8	
降 水 量	平均 (mm)	720.1 mm	1162.6 mm	1882.7 mm	
	基準年 (日)				
降 水 日 数	平均 (mm)	日	日	日	
	基準年 (日)				
根 雪 期 間					
無 霜 期 間					
最 多 風 向		W	最大風速	20.2 m/s	発生時期 平成21年2月21日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	数	年 月 日	発生 確率	
大館観測所																
観測期間	M15年～R4年															
最大日雨量 (mm)	163	H6.8.31	-	149	H19.9.17	-	145	H23.8.17	-	142	R5.7.15	-	142	H16.8.6	-	
最大時間雨量 (mm)	68	H25.8.9	-	68	S52.8.9	-	67	H6.8.31	-	57	R5.9.19	-	51	H16.8.6	-	
最大4時間雨量 (mm)																
最大連続雨量 (mm)																
最大連続干天日数 (日)																

3. 海象

該当事項なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1)

地目	田						畑・その他							受益地標高		備考	
	1/1000 以下	1/100 ～ 1/1000	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/15	1/15 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
面積 (ha)		33.0				33.0										m 91.8	m 74.9
比率 (%)		100				100											

(第4表-2)

項 土 壤 統 区 目 名	土 壤 統 区 区 分 一 覧 表											面 積 ha	備 考
	土 壤 断 面								堆 積 様 式	母 材			
	色	腐 植 層	れき層	酸 化 沈 殿 物	土 性			泥 炭 層			グライ層		
					表土 (1)層	下 層 土							
					2層	3層							
グライ土壌 粘土型 (E42)	灰 灰	含む	なし	糸根状斑	LiC	HC	HC	グライ層あり		水積	非固結 堆積岩	6.0	
強グライ土壌 粘土還元型 (D32)	灰 青灰	含む	なし	膜状斑	CL	SiCL	SCL	グライ層あり		水積	非固結 堆積岩	10.0	
礫層土壌 粘土型 (J91)	灰褐 灰褐	含む	なし	糸根状斑 膜状斑	LS			なし		水積	非固結 堆積岩	12.0	
礫質土壌 壤土マンガン型 (K93)	灰 青灰	なし	あり	なし	SiC	SiC	LiC	なし		水積	非固結 堆積岩	5.0	

2. 土地分類 該当事項なし

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事 業 名	土地利用別 市町村別	耕 地							山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計
		水 田		普通畑	果樹園	桑 園	茶 園	その 他の樹園	用材林	薪炭林				
		1毛 作田	2毛作 田以上											
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
防災重点農業 用ため池緊急 整備	大 館 市	33.0												33.0

4.土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	国県有地	市町村有地	その他	計	備考
	区分							
ため池等整備	面積 (ha)		33.0				33.0	
	関係戸数 (戸)		40				40	
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考							

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 : 各ため池に設置された斜樋によって取水し、堤体下の底樋工を通り、下流の水路に接続し、用水路を經由し灌漑されている。

(2) 用水慣行 : 最大取水量 $q = 0.108 \text{ m}^3/\text{s}$

(3) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計	水利権	慣行水利権		延取水量	備考		
	100 ^{ha} 以上		100~30 ^{ha}		30 ^{ha} 以下				水利権	慣行水利権				
	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	ha	個所	m ³ /s	個所	m ³ /s	m ³ /s	
井														
堰														
自然取入口														
貯水池			5	33.0			5	33.0			5	0.108		
揚水機														
その他														
計			5	33.0			5	33.0						

(イ) 改修を要する施設

(第5表-2)

項目 施設名	施設名	受益面積		水量	構造	規模	新設・又は更新 年月日	改修を必要とする理由	管理者	当該施設の築造		河川名	備考
		全体	関係分							事業名	経過年数		
井堰 自然取入口 貯水池 用水路 その他	頭堤 他4池	33.0	33.0	120 千m ³	フィルダム (均一型)	堤体 堤高6.3m 堤長185m 取水施設 斜樋 300 底樋 400 余水吐工 B1.0×H0.8	1924年	老朽化及び緊急放流能力の不備	大館市 土地改良区	不明	100年以上	長木川 大茂内川	

(4) 用水に関する被害状況 該当事項なし

(5) ため池決壊の場合の被害状況

(第6表)

想定被害	被害面積 (ha)				被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
	38.9	0	32.2	71.1	58,516	938,864	193,130	105,325	940,168	2,236,003	36	

(6) 原因究明 : 本ため池は、ため池施設全体の老朽化が著しい。洪水吐の能力不足に加え、緊急放流施設がないため、地震時など安全に水位を低下させることが不可能であり危険な状況である。

第 4 節 道路概況

1. 道路状況... 本地区の管理道路は、林道の幅2.5m程で狭小な道路である。工事の際はある程度の伐採を必要とする。

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	区分	第 1 次 産 業			第 2 次 産 業			第 3 次 産 業								
		農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 業	ガ ス 業	運 輸 通 信 業	小 卸 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
大 館 市	32,442	1,862	161	2	36	3,133	6,202	178	1,449	5,428	545	309	11,971	1,166	0	
比 率 (%)	100	5.7	0.5	0.0	0.1	9.7	19.1	0.5	4.5	16.7	1.7	1.0	36.9	3.6	0.0	

(資料名：令和6年 県勢要覧)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況ならびに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村	経営 体 数	経営耕地広狭別農家数											1戸当り平均農用地面積					耕地の 分散状況		専兼業別農家数		備 考		
		ha 0.3 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 以上	耕地 無し	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	団 地 数	一 戸 当 り 積 り	面 積 当 り		専 業	兼 業
																								第1種
大館市	1,297	22	122	274	220	138	138	143	111	66	44	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比率 (%)	100	1.7	9.4	21.1	17.0	10.6	10.6	11.0	8.6	5.1	3.4	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(資料名：2020年 農林業センサス)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備 考
	トラクター		自脱型 コバイン		田植機				乳用牛		肉用牛		豚		にわとり		
	台数	戸数	台数	戸数	台数	戸数	台数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	
大館市	2329	1766	1315	1231	1531	1473			115	5	11	13		2	65	5	
100戸当り数量	132		107		104		-		26		85		0		1,300		
利用戸数の割合	39.5		27.5		33.0		-		20.0		52.0		8.0		20.0		

(資料名：2015年、2020年 農林業センサス)

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			大 館				計 ・ 平 均				作 付 率 (%)	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)			5,206 ha				5,206 ha						
区 分 作 物 名	作付面積		単 位 面 積 当 り 収 量	作付面積	単 位 面 積 当 り 収 量	作付面積	単 位 面 積 当 り 収 量	作付面積	単 位 面 積 当 り 収 量	作付面積	単 位 面 積 当 り 収 量	作付率 (%)	備 考
	ha	kg/10a	ha	kg/10a	ha	kg/10a	ha	kg/10a					
田	表 作	水 稻	3,780	569						3,780	569	93	
	裏 作												
畑	春夏作	野菜他	282							282		7	
	秋冬作												
樹 園 地	果 樹												
	他												
牧 草 地	牧 草												
計			4,062							4,062		100	
市町村延作付率(%)			78.0							78.0			

(資料名 : 2020年 農林業センサス)

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家 (戸数)			土 地 (面積)			主 要 作 目 (面積)			大 家 畜 (頭数)			動 力 農 機 具 (台数)			地 域 指 定 等	備 考
	区 分	B	A (現在)	地 目	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	機 械 名	B	A (現在)		
変 化 の 状 況 C 年 を 一 〇 〇 と し た 場 合 の 指 数	総農家数	72	46	耕 地	90	82	水 稻	91	89	乳用牛	57	32	トラクター	79		大館市 農業振興地域 (S46.3)	A：令和2年 (2020年 農林業 センサス) B：平成27年 (2015年 農林業 センサス) C：平成22年 (2010年 農業セ ンサス)
	専 業 農家数	79	41	田	93	84	豆 類	135	126	肉用牛	0	185	田植機	76			
	第1種兼 業農家数	75	60	畑	61	61	いも類	100	67	豚	0	0	コンバイン	79			
	第2種兼 業農家数	69	46	樹園地	76	67	野菜類	33	28	にわとり	76	78	米麦用 乾燥機	0			
	農 業 従事者数	67	39	草 地	0	0	果樹		0								
変 化 の 理 由	社会条件の変化			社会条件の変化			社会条件の変化			社会条件の変化			省力化による				

(資料名：農林業センサス)

第 6 節 地域環境の概況

1. 自然環境

市の四方は秋田杉をはじめとする豊かな山地で覆われ、米代川及び米代川水系の河川が市内を貫流し、この流域に街や、集落が形成されている。また、市街地を流れる長木川には冬期に白鳥など渡り鳥が飛来する自然環境にある。しかし、近年は生活雑排水などの流入により河川の汚染が進み下水道整備による汚水処理の普及が急がれる。

2. 社会環境

大量生産・大量消費・大量廃棄型社会は、様々な環境問題を顕在化させており、社会経済システムやライフスタイルそのものの転換が求められている。このため、一人ひとりが環境の重要性を認識するとともに、本市の貴重な財産である農地や森林のもつ多面的機能を維持し、緑化推進、環境美化運動、景観の保全など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に推進する必要がある。

3. 生活環境

ごみの分別と細分化を徹底するとともに、生ごみのリサイクル、資源回収運動により、ごみの減量化に努める。また、コンポストセンターなどによる良質な堆肥の供給や、農業集落排水処理施設の縦貫型処理施設の整備を進め、循環型社会の確立を目指す。

(大館市田園環境整備マスタープランより)

第 4 章 一 般 計 画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農用地及び農業用施設等の災害を防止するため、次の改修・補強を行う。

取水施設 ----- 頭堤では、現況と同位置に斜樋方式で改修する。中堤・下堤は、縦樋方式（スライドゲート）で改修する。
底樋は基準の最小断面である 800にて改修する。

余水吐 ----- 頭堤・下堤では、現況と同位置に側水路型で改修する。中堤は、縦樋方式（取水施設兼用）で改修する。

基礎処理 ----- 頭堤では傾斜遮水ゾーン型、中堤・下堤は均一型とする。下流側法尻には法先ドレーンを設置し、浸透水の処理を図る。

堤 体 ----- 必要なせん断強度を持った土で盛り立てると共に、波浪による侵食を防ぐため上流法面に法面保護工を設ける。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	た め 池 等 整 備							計 (ha)	備 考
	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)		
事業目的 防災重点農業用ため池緊急整備	33.0						33.0	33.0	
計	33.0						33.0	33.0	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

- 1. 営農計画の概要 ----- 該当事項なし
- 2. 土地利用区分 ----- 該当事項なし
- 3. 作付方式 ----- 該当事項なし
- 4. 生産計画 ----- 該当事項なし
- 5. 労働改善計画 ----- 該当事項なし
- 6. 級地別土地利用区分 ----- 該当事項なし
- 7. 土地配分計画 ----- 該当事項なし

第 3 節 用水計画

- 1. 計画基準年 ----- なし
- 2. かんがい方式 ----- 堰水かんがい
- 3. 計画用水系統 ----- 現況と同じ
- 4. 計画用水量 ----- $Q = 0.108 \text{ m}^3/\text{s}$
- 5. 水源計画

(1) 用水対策

イ. 井堰及び自然取入 ----- 該当事項なし

ロ. 貯水池

(第9表)

項目 貯水池名	流域面積		かんがい 面積	有効 貯水量	利用 貯水量	利用回数	最大 取水量	間接流域 最大貯水量	備 考
	直接	間接							
頭堤 (他4池)	km ² 0.307	km ²	ha 33	千m ³ 12.0	千m ³ 12.0	回 1	m ³ /s 0.108	m ³ /s -	

ハ. 用水路 ----- 該当事項なし

6. たん水計画 ----- 該当事項なし

第 4 節	排 水 計 画	-----	該当事項なし
第 5 節	道 路 計 画	-----	該当事項なし
第 6 節	農用地造成計画	-----	該当事項なし
第 7 節	洪水調節計画	-----	該当事項なし
第 8 節	干 拓 計 画	-----	該当事項なし
第 9 節	農用地整備計画	-----	該当事項なし

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 余水吐改修計画

(1) 計画基準雨量	200年確率最大日雨量	R = 187.8 mm/day	
(2) 計画洪水量	流 出 率	山林 f1 = 0.625	原野 f2 = 0.625
		耕地 f3 = 0.50	ため池 f4 = 1.00
	計 画 洪 水 量	6.060 m ³ /s	
	洪水吐対象洪水量	Q = 5.100 m ³ /s	
	洪水調節可能量	q = 0.960 m ³ /s	(面積比率 1:6.3)

2. 堤体補強計画

- | | |
|----------------|---|
| (1) 法面保護施設 | 波浪等による上流斜面の侵食を防止するため、布製型枠を設けて法面を保護する。 |
| (2) 漏水防止工 | 堤体は傾斜遮水ゾーン型、中堤・下堤は均一型とする。下流側法尻に法先ドレーンを設置し浸透水の処理を図る。 |
| (3) 洪水吐改修計画 | 頭堤・下堤は側水路型、中堤は竖樋(取水施設兼用)で設置する。 |
| (4) 取水施設改修計画 | 頭堤は斜樋方式、中堤・下堤は竖樋方式とし、3池の底樋工はプレキャスト底樋管とする。 |
| (5) 廃止計画 | 下堤(B)は堤体開削により廃止する。また、新池は下流の宅地へ洪水の影響を防止するため、洪水調整機能を残した廃止とする。 |

第 5 章 主要工事計画

第 1 節	用水施設	-----	該当事項なし
第 2 節	排水施設	-----	該当事項なし
第 3 節	道路及び索道	-----	該当事項なし
第 4 節	農用地造成	-----	該当事項なし
第 5 節	洪水調整	-----	該当事項なし
第 6 節	干拓施設	-----	該当事項なし
第 7 節	農用地整備施設	-----	該当事項なし

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第10表)

名称	頭 堤		位置	秋田県大館市大茂内字諏訪台						
	型 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
直 接		間 接	総貯水量					有効貯水量		
堤 体	傾斜遮水 ゾーン型	0.229	-	6.5	142.8	12.3	礫混じり 砂	120.0	120.0	
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	
	側水路型	5.38			斜樋管	0.108		オリフィス型	0.201	

名称	中 堤		位置	秋田県大館市大茂内字諏訪台						
	型 式	流域面積 (km ²)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
直 接		間 接	総貯水量					有効貯水量		
堤 体	均一型	0.252	-	3.6	58.2	1.2	粘性	20.0	20.0	
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	
	豎 樋	5.85			豎樋	0.108		オリフィス型	0.015	

(第10表)

名 称	下 堤			位 置	秋田県大館市大茂内字諏訪台						
	型 式	流域面積 (km ²)			堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接						総貯水量	有効貯水量	
堤 体	均一型	0.261	-	2.8	36.5	1.5	砂質	6.0	6.0		
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)		
	側水路型	6.06			豎樋	0.108		オリフィス型	0.005		

名 称	下堤 (B)			位 置	秋田県大館市大茂内字諏訪台						
	型 式	流域面積 (km ²)			堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接						総貯水量	有効貯水量	
堤 体	廃 止	0.009	-	3.0	45.0	8.0	礫混じり砂	-	-		
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)	堤体開削	
	開水路	0.170(1/200) 0.110(1/10)			-	-		フリューム	0.170(1/200) 0.110(1/10)		

(第10表)

名 称	新 池			位 置	秋田県大館市大茂内字諏訪台						
	型 式	流域面積 (km ²)			堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m ³)		備 考
		直 接	間 接						総貯水量	有効貯水量	
堤 体	廃 止	0.037	-	3.8	200.0	1.0	礫混じり砂	-	-	堤体上部開削	
洪 水 吐	型 式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	型 式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放流量 (m ³ /s)		
	開 水 路	0.629(1/200) 0.363(1/10)	-		-	洪水調整柵		0.300(1/200) 0.082(1/10)			

2. 堤体補強施設

- (1) 法面保護施設 波浪等による上流斜面の侵食を防止するため、布製型枠を設けて法面を保護する。
- (2) 漏水防止工 堤体は傾斜遮水ゾーン型及び均一型とし、下流側法尻に法先ドレーンを設置し浸透水の処理を図る。

第 6 章 付 帯 工 事 計 画 該当事項なし

第 7 章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期 ・ 管 理 の 要 領

着 手	令和 8 年 4 月 1 日
完 了	令和 16 年 3 月 31 日

第 8 章 環境と調和への配慮

ため池工事中に池内土砂の流出対策として沈殿池を設置し、下流の河川環境への配慮を行うと共に、水辺環境の保全を行う。また、貴重な動植物が確認された場合は、下流域に移送するなど生息環境の保全対策を実施する。

第 9 章 換地計画の概要 該当事項なし

第 10 章 事業費の総額及び内訳

総 額 642,000 千円

R7単価 (第11表)

種 目	事 業 量	事 業 費 (千円)
工 事 費	ため池N=5池 (内2池廃止)	521,000
堤 体 工	H=6.5m、堤長L=142.8m、他2池	204,000
洪水吐工	1 式	89,000
取水施設工	1 式	156,000
仮 設 工	1 式	72,000
測 量 試 験 費	1 式	70,000
用地買収補償費	1 式	9,000
計		600,000
地 方 事 務 費		42,000
合 計		642,000

第 11 章 効 用

1. 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第12-1表)
(単位：千円)

区 分	算定式	数値	備考
総事業費(現在価値化)	= +	千円 508,744	R7単価
当該事業による費用		521,179	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)		12,435	
年償還額		千円/年 0	
年総効果(便益)額		千円 115,365	
現況年総農業所得額		千円 6,539	
年総増加農業所得額		千円 12,496	
評価期間(当該事業の工事期間+40年)		年 48	工事期間8年
割引率		0.04	
総便益額(現在価値化)		千円 2,445,173	
総費用総便益比	= ÷	4.80	1.0
総所得償還率	= ÷	-	0.2
増加所得償還率	= ÷	-	0.4

2. 年総効果額及び年総増加所得額の総括

(第12-2表)
(単位：千円)

区 分 効果項目	年総効果（便益）額	年増加農業所得額	
			うち 機能向上分
食料の安定供給の確保に関する効果	9,431	12,496	
作物生産効果	12,496	12,496	
品質向上効果	-	-	
営農経費節減効果	2,212	-	
維持管理費節減効果	853	-	
農業の持続的発展に関する効果	54,997	-	
耕作放棄地防止効果	-	-	
災害防止効果（農業）	54,997	-	
農業労働環境改善効果	-	-	
農村の振興に関する効果	43,436	-	
災害防止効果（一般資産）	43,436	-	
地域用水効果	-	-	
一般交通等経費節減効果	-	-	
地積確定効果	-	-	
国土造成効果	-	-	
非農用地等創設効果	-	-	
地域経済への波及効果	-	-	
多面的機能の発揮に関する効果	4,866	-	
災害防止効果（公共資産）	4,866	-	
水源かん養効果	-	-	
景観・環境保全効果	-	-	
都市・農村交流促進効果	-	-	
その他	2,635	-	
国産農産物安定供給効果	2,635	-	
計	115,365	12,496	

令和7年度単価

第 12 章 関連する事業 該当事項なし

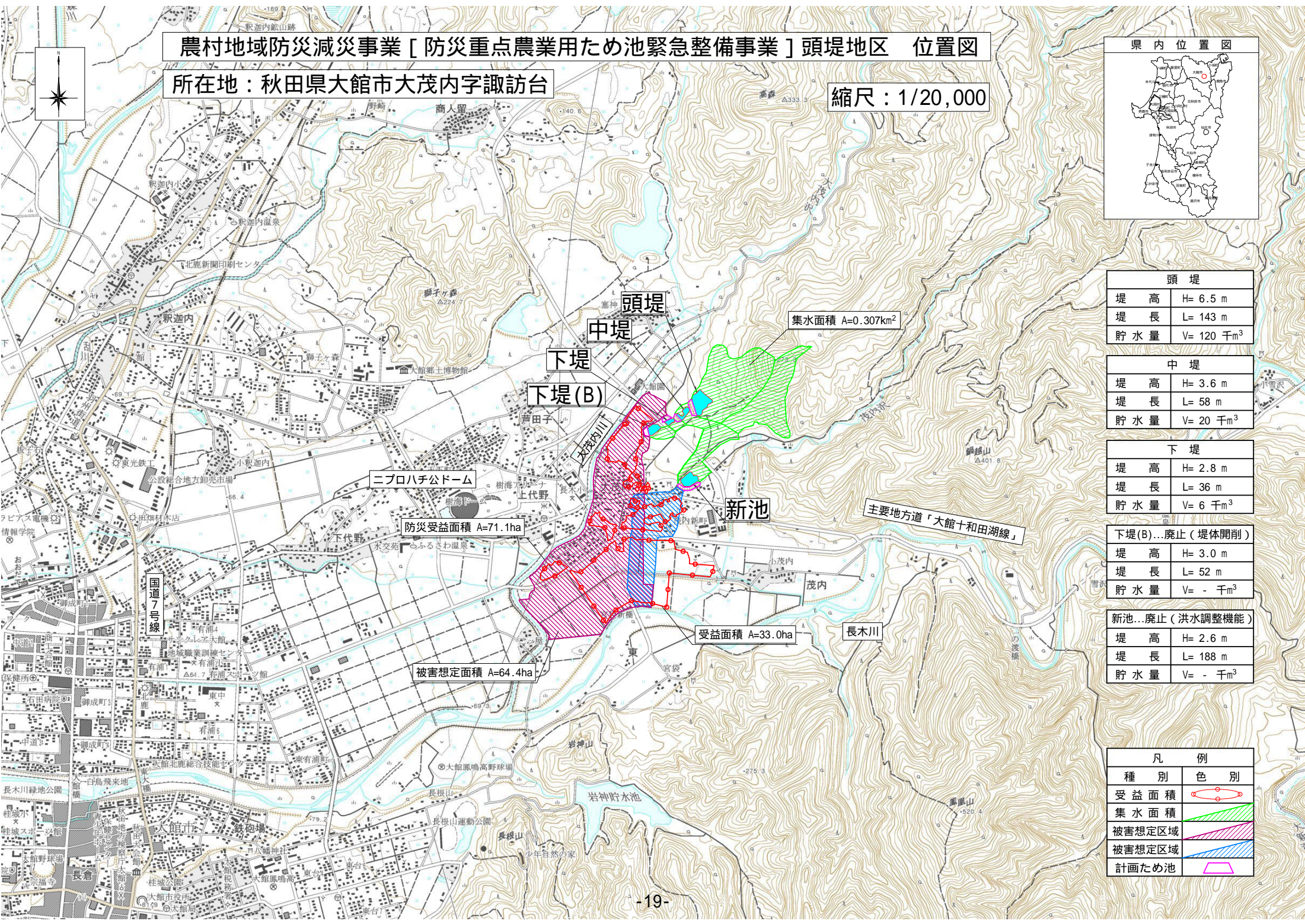
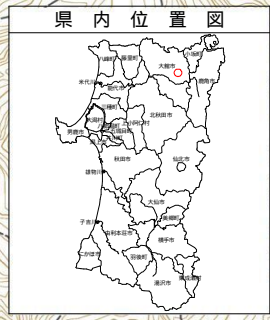
第 13 章 現況・計画図面

別紙のとおり

農村地域防災減災事業 [防災重点農業用ため池緊急整備事業] 頭堤地区 位置図

所在地：秋田県大館市大茂内字諏訪台

縮尺：1/20,000



頭堤	
堤高	H= 6.5 m
堤長	L= 143 m
貯水量	V= 120 千m ³

中堤	
堤高	H= 3.6 m
堤長	L= 58 m
貯水量	V= 20 千m ³

下堤	
堤高	H= 2.8 m
堤長	L= 36 m
貯水量	V= 6 千m ³

下堤(B)...廃止(堤体開削)	
堤高	H= 3.0 m
堤長	L= 52 m
貯水量	V= - 千m ³

新池...廃止(洪水調整機能)	
堤高	H= 2.6 m
堤長	L= 188 m
貯水量	V= - 千m ³

凡 例	
種 別	色 別
受益面積	
集水面積	
被害想定区域	
被害想定区域	
計画ため池	

集水面積 A=0.307km²

防災受益面積 A=71.1ha

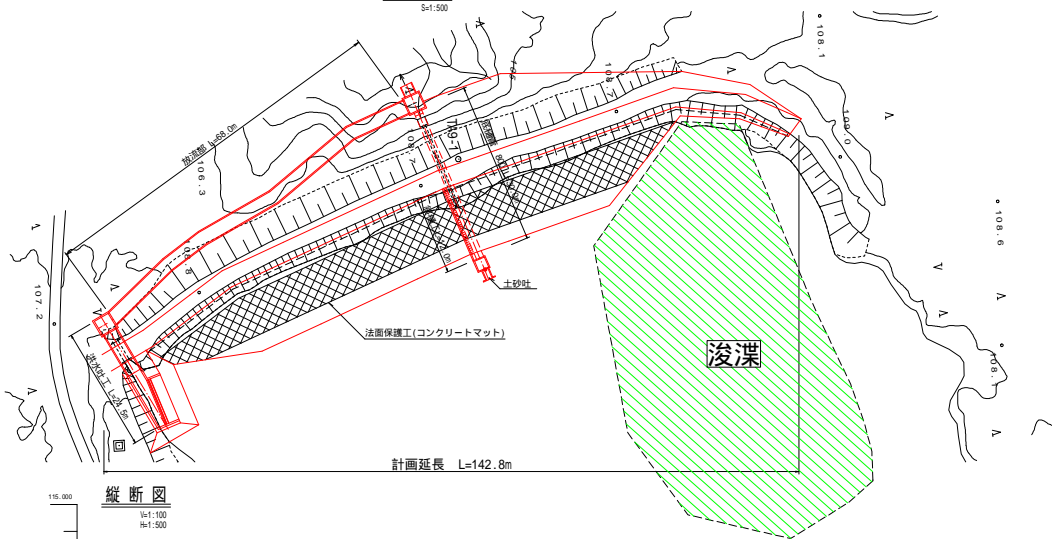
受益面積 A=33.0ha

被害想定面積 A=64.4ha

主要地方道「大館十和田湖線」

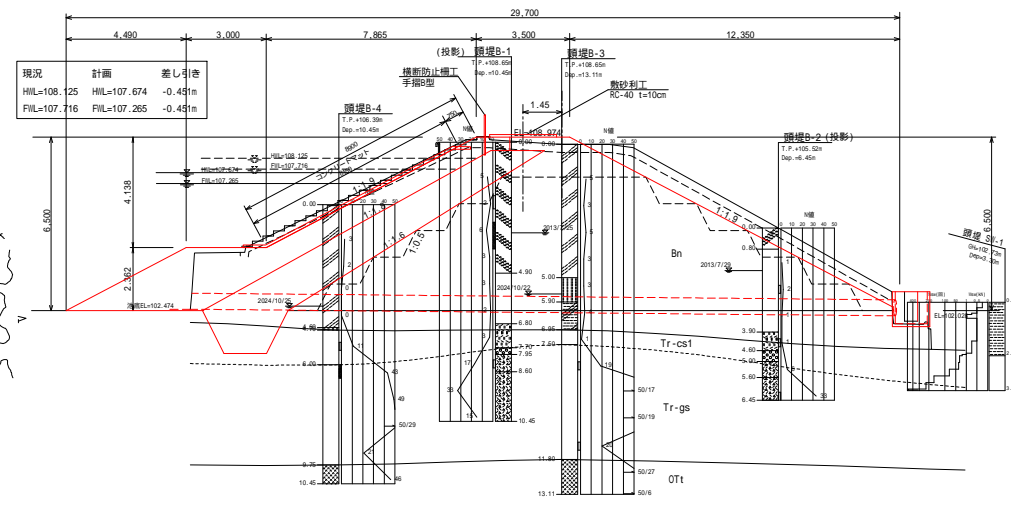
平面図

S=1:500



堤体工標準断面図

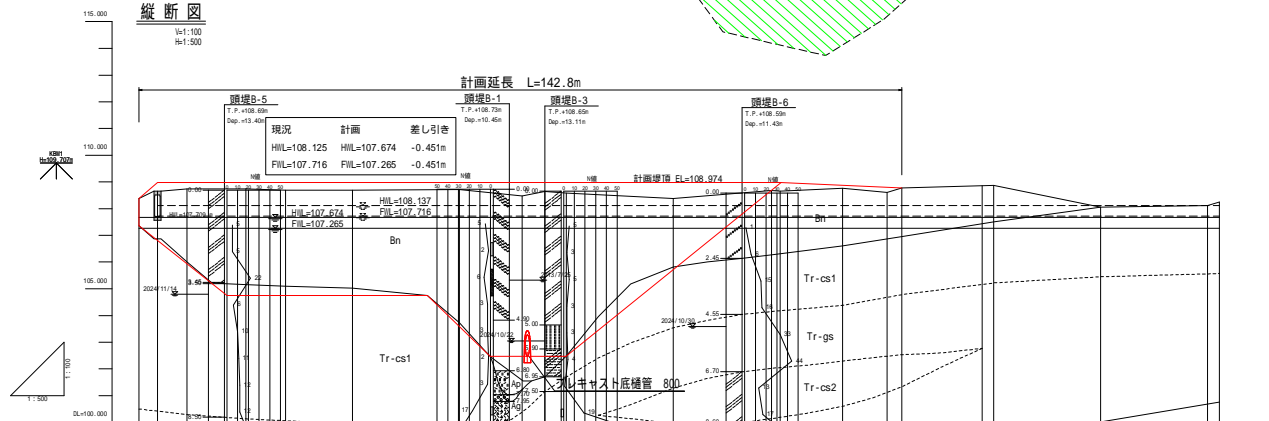
S=1:100



縦断面図

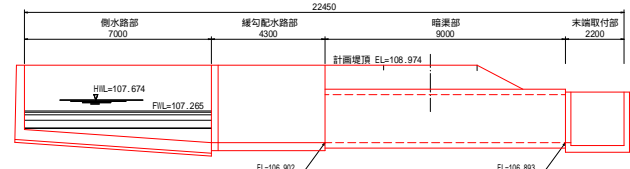
S=1:100

H=1:500



側水路型洪水吐

S=1:100



断面

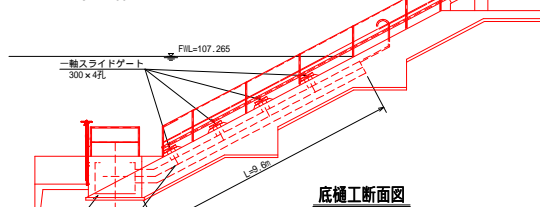
S=1:100

①断面

②断面

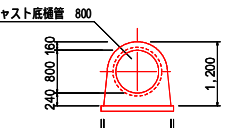
斜樋工

S=1:100



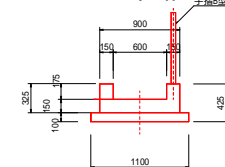
底樋工断面図

S=1:50



階段工断面図

S=1:30

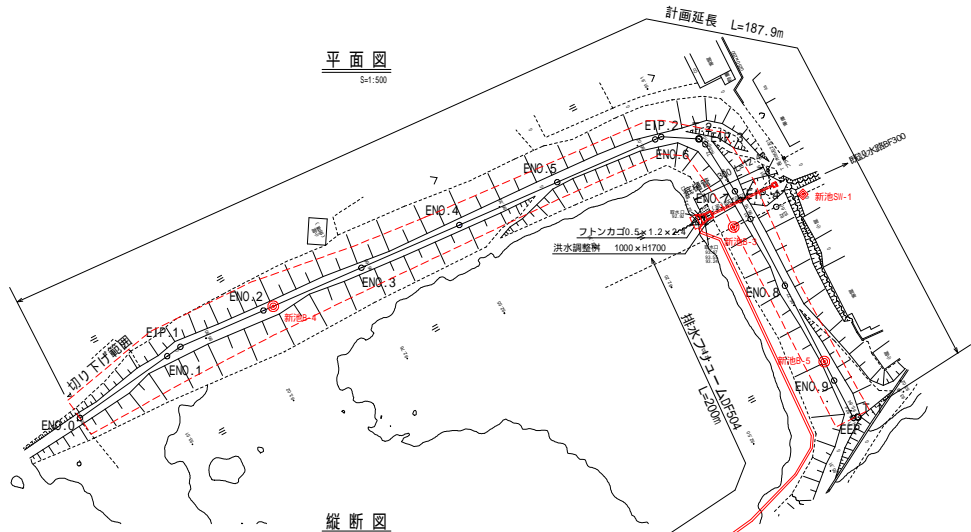


勾配	Tr-gs																			
盛土高	OTt																			
切土高																				
計画高																				
地盤高	903.39	903.66	903.74	903.69	903.69	903.71	903.69	903.64	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59	903.59
追加距離	0.000	3.460	6.920	10.380	13.840	17.300	20.760	24.220	27.680	31.140	34.600	38.060	41.520	44.980	48.440	51.900	55.360	58.820	62.280	65.740
単距離	0.000	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460	3.460
測点	測点3	測点4	測点5	測点6	測点7	測点8	測点9	測点10	測点11	測点12	測点13	測点14	測点15	測点16	測点17	測点18	測点19	測点20	測点21	測点22
曲線	IP.1 1A4-19-32		IP.2 1A12-09-44		IP.3 1A6-29-49		IP.4 1A24-27-57		IP.5 1A18-34-21		IP.6 1A23-46-19		IP.7 1A6-53-46							

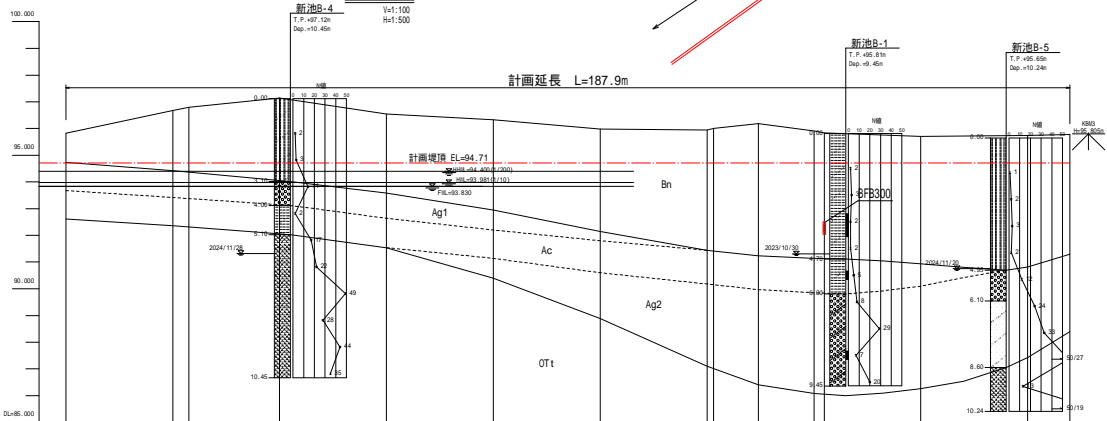
業務名	預堤地区農村地域の防災事業		
図面名	計画一般図(堤堰)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	3-1
会社名	秋田県土地改良事業団体連合会		
事業所名	北秋田地域振興局農林部		



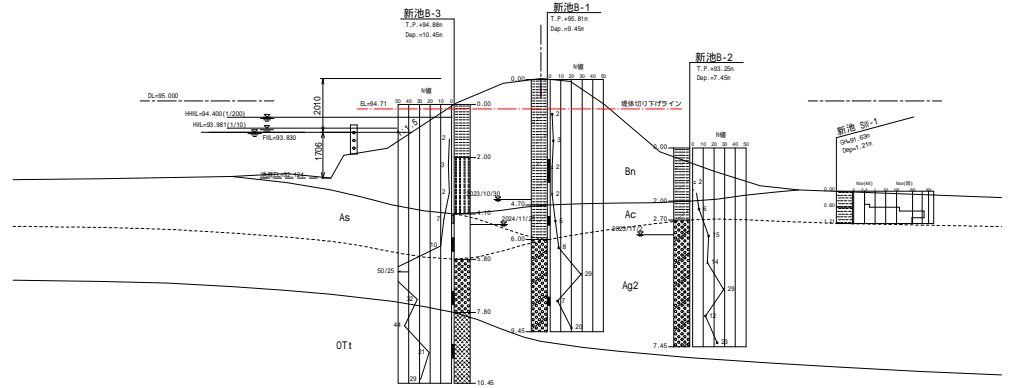
平面図
S=1:500



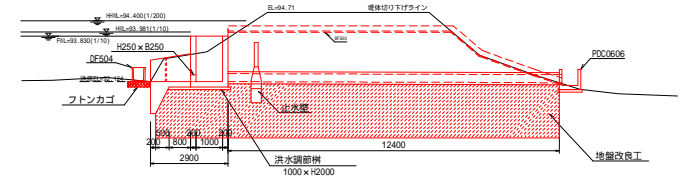
縦断面図
S=1:100



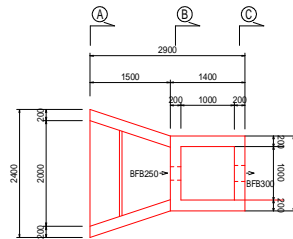
堤体工標準断面図
S=1:100



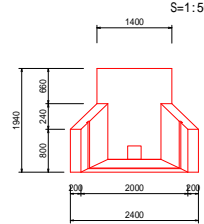
洪水調節柵・底構側面図
S=1:100



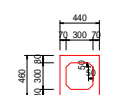
洪水調節柵平面図
S=1:50



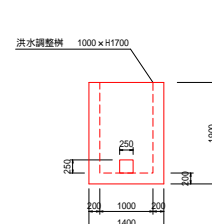
洪水調節柵断面図(A)断面
S=1:50



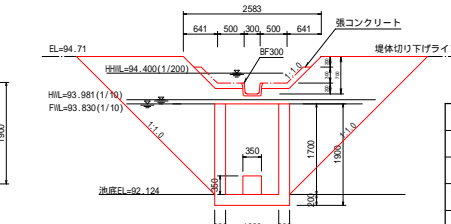
BFB300断面図
S=1:30



洪水調節柵断面図(B)断面
S=1:50



洪水調節柵断面図(C)断面
S=1:50



勾配																											
盛土高																											
切土高																											
計画高																											
地盤高	95.03	95.07	95.09	95.15	95.24	95.33	95.39	95.41	95.44	95.47	95.48	95.51	95.52	95.54	95.54	95.57	95.57	95.59	95.74								
追加距離	0.00	20.00	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	120.00	140.00	160.00	180.00	200.00	220.00	240.00	260.00	280.00	300.00	320.00	340.00								
単距離	0.00	20.00	3.00	16.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	7.00								
測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点	測点								
曲線	IP.1 14x11-43-88		IP.2 14x22-14-40			IP.3 14x48-06-57		IP.4 14x4-49-26																			

業務名	預震地区 農村地域の防災事業		
図面名	計画一般図(新池)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	3-4
会社名	秋田県土地改良事業団体連合会		
事業所名	北秋田地域振興局農林部		